

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	音楽表現技術特別演習		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>本授業は教育・保育の場面で必要となる子どもの発達に即し歌の特徴を踏まえた伴奏を作って弾き歌いできる技術を習得することを目的に行う。子どものうたや小学校教科書の教材曲を基に楽曲分析やコード付けを行い、音楽的な意図を持って表現豊かな伴奏を工夫する。個人レッスンを基本に、全体での一斉講義と授業内演奏発表を取り入れながら行う。提出された課題は添削しコメントをつけて返し、授業での授業者による講評及び学生間の意見交流等を経て理解を深める。</p>			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習、および実技形式で行う。クラス内発表では、ディスカッションやグループワークを取り入れる。

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の意義の理解と自己課題の設定	本授業の意義と授業計画を理解し自己の課題を明確に設定する。楽器の取り扱いや練習室の利用方法の確認をする。	<input type="checkbox"/>
第2回	拍、拍子、リズムの階層的な構造の理解と分析	子どものうたや小学校教科書に載っている教材曲の拍、拍子、リズムの階層的な構造を理解し演奏する。	<input type="checkbox"/>
第3回	主音を基盤とした音階の理解と演奏	主音、下属音、属音のはたらきから伴奏の基本を理解するとともに、いろいろな調性で音階を演奏する。	<input type="checkbox"/>
第4回	ハ長調：コード伴奏の作成と演奏	コードネームと構成音の関係を理解する。主要3和音を用いてハ長調の歌にコードを付け、リズム変奏を取り入れた伴奏を作成し演奏する。	<input type="checkbox"/>
第5回	ヘ長調：コード伴奏の作成と演奏	主要3和音を基本にしてヘ長調の歌にコードを付けて演奏する。	<input type="checkbox"/>
第6回	ト長調：コード伴奏の作成と演奏	主要3和音を基本にして副3和音も用いながら、ト長調の歌にコードを付けて演奏する。	<input type="checkbox"/>
第7回	ニ長調：コード伴奏の作成と演奏	主要3和音を基本にして副3和音、代理和音も用いながら、ニ長調の歌にコードを付けて演奏する。	<input type="checkbox"/>
第8回	自作の伴奏による弾き歌いの交流と効果的なリズム表現の工夫	自作の、リズムなどの表現を工夫したコード伴奏による弾き歌いの交流をし鑑賞し合うとともに意見交流し、効果的な伴奏の作り方を理解する。	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>
第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

<b>■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)</b>	
<p>事前学習として、練習の過程で疑問に思うこと・質問したいことなどをノートに整理する(2時間程度)。事後学習として、授業で明確になった課題を楽譜に書き込み、コードや形式等から楽曲分析をするとともに演奏の習得を目指し練習する。(2時間程度)。</p>	

<b>■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)</b>	
---	--

提出された課題は添削しコメントをつけて返却する。

### ■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	カデンツなどのコード進行のはたらきから曲の構成がわかり、歌と伴奏の階層的な構造を生かした演奏表現ができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	歌の特徴を捉え、それを生かした伴奏のコードやリズムのアレンジをしようとする。

### ■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業内演奏発表

### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	教員養成課程 新版 小学校音楽科教育法 教育芸術社 (初等教育コース学生)	9784877888237
2	大海由佳・古谷和子編著：保育士・幼稚園教諭のための弾き歌い伴奏集 第2巻 選べる3ステップ [改訂版] 学研プラス (幼児教育コース学生)	9784051541644
3	コクヨ 音楽帳B5 5線譜12段	
4		
5		

### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	3つのコードで楽しく弾けるピアノ伴奏曲集 (全員) / ドレミ楽譜出版	9784285144611
2		
3		
4		
5		